

海浜幕張駅帰宅困難者対策実動訓練

訓練資料

(目次)

- ・ 海浜幕張駅帰宅困難者対策実動訓練（概要）
- ・ 海浜幕張駅帰宅困難者実動訓練の流れ
- ・ 海浜幕張駅帰宅困難者実動訓練 参加機関一覧（案）
- ・ 集合場所
- ・ 海浜幕張駅帰宅困難者対策実動訓練
- ・ 通信訓練シナリオ
- ・ 利用者保護訓練及び情報伝達訓練
- ・ 海浜幕張駅から幕張メッセ国際会議場（一時滞在施設）案内図
- ・ 一時滞在施設（幕張メッセ国際会議場）1階・2階動線・配置図
- ・ 意見交換会
- ・ 訓練変更または訓練中止の決定
- ・ 報道発表資料

海浜幕張駅帰宅困難者対策実動訓練（概要）

1 日 時

平成30年11月7日（水）9：30～11：50

2 場 所

JR海浜幕張駅周辺
幕張メッセ（一時滞在施設）

3 主 催

千葉県、千葉市、海浜幕張駅周辺帰宅困難者等対策協議会

4 参加人数

約220人（うち、帰宅困難者役 約100人（身体障害者4人、外国人4人））

5 スケジュール

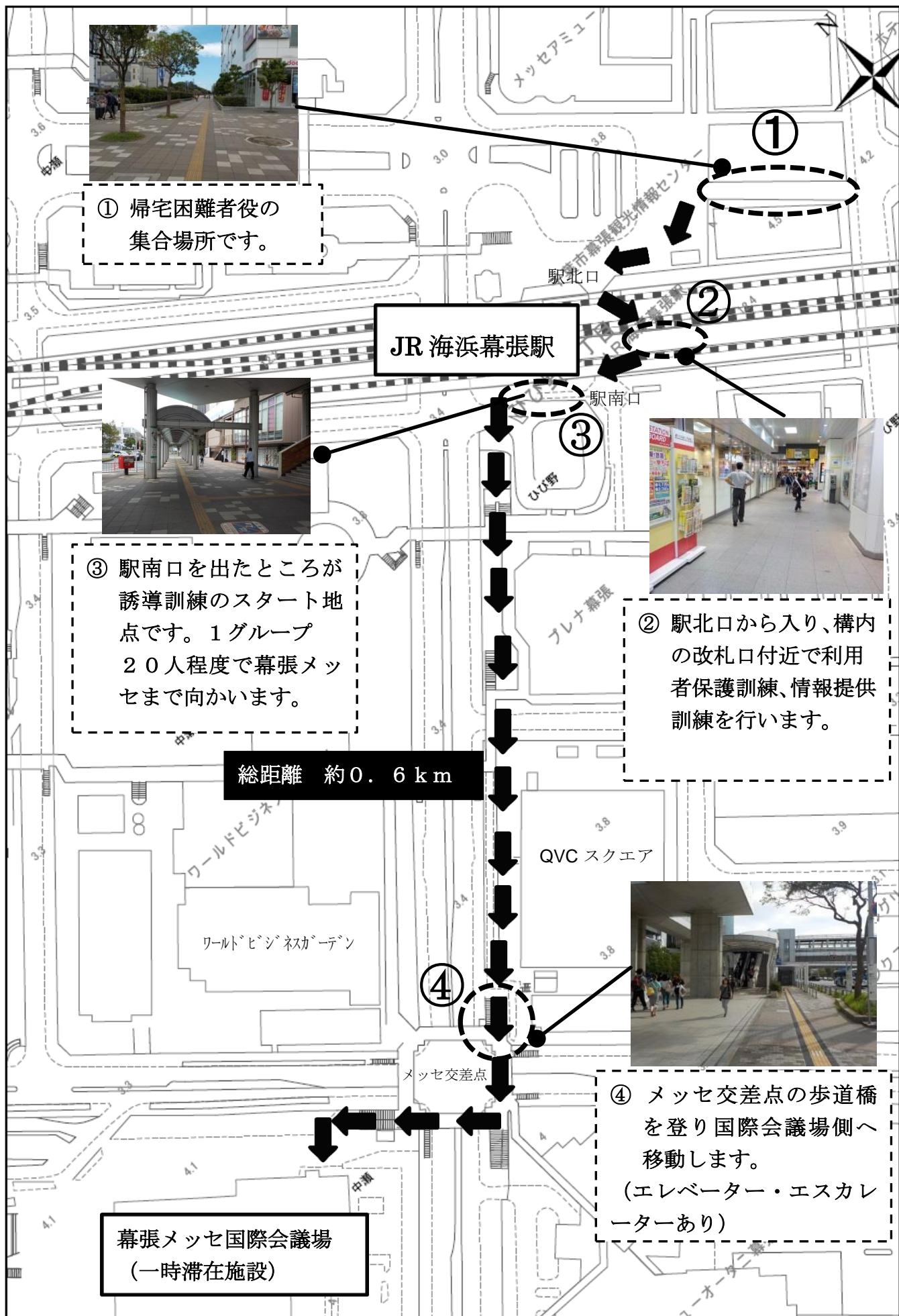
訓練項目	時 間	会 場	特 徴
事前説明	9:30～ 9:40	北口第一駐輪場 付近	・協議会会長（美浜区長）挨拶 ・訓練参加者（帰宅困難者役）への諸注意
通信訓練	9:30～ 10:10	各機関	・緊急連絡体制に基づく通信訓練 ※協議会の全機関が参加
利用者保護訓練	9:50～ 10:10	JR 海浜幕張駅	・負傷者（腕の負傷：1名）への応急手当 ・身体障害者（視覚・聴覚・肢体不自由）への対応 ・JR海浜幕張駅による外国語対応
情報提供訓練	10:10～ 10:25	JR 海浜幕張駅 千葉市観光情報センター	・JR海浜幕張駅及び千葉市観光情報センターでの外国語による情報提供 ・聴覚障害者への筆談対応
一時滞在施設への誘導訓練	10:25～ 10:35	JR 海浜幕張駅～ 幕張メッセ	・帰宅困難者による身体障害者の誘導（車いす介助・視覚障害者の介助）
一時滞在施設の受け入れ訓練	10:35～ 11:20	幕張メッセ	・施設職員等による視覚障害者への対応（受付票記入の代筆）
意見交換会	11:20～ 11:50	幕張メッセ	【発表機関】 JR海浜幕張駅・千葉西警察署・幕張メッセ・千葉市観光協会（観光情報センター）・千葉市身体障害者連合会・千葉中央看護専門学校

6 訓練の変更・中止

- (1) 千葉市内において災害が発生し、又は発生するおそれがある場合。
- (2) 本市に気象警報等の発表、又は震度4以上の地震が発生した場合。
- (3) 交通機関が混乱し、又は混乱するおそれがある場合。
- (4) 訓練を中止する必要があると事務局が判断した場合。

※ 訓練当日の午前7時に判断を行い、市危機管理課ホームページへの掲載及び参加機関へ連絡します。

海浜幕張駅帰宅困難者実動訓練の流れ



海浜幕張駅帰宅困難者対策実動訓練 参加機関一覧(案)

	参加機関名簿		
	機関名	参加人数(予定)	
		実動訓練	通信訓練
交通機関	東日本旅客鉄道株式会社 海浜幕張駅	6	1
	京成バス株式会社	2	5
行政機関	千葉県美浜区役所	8	1
	千葉県総務局危機管理課(防災対策課)	6	1
	千葉県消防局	0	1
	千葉県防災政策課	2	1
	千葉県危機管理課	3	1
	千葉県西警察署	7	2
	鉄道警察隊	4	1
	千葉県警察千葉市警察部	1	1
	千葉市観光協会	2	1
一時滞在施設	株式会社 幕張メッセ	14	1
	千葉県総合教育センター	0	1
	千葉県立保健医療大学	2	2
宿泊施設・商業施設等	ホテルグリーンタワー幕張	0	1
	プレナ幕張	0	1
	株式会社 幕張テクノガーデン	0	1
	三井不動産ビルマネジメント株式会社 (ワールドビジネスガーデン)	10	1
	株式会社 キッツ	0	2
	NTT都市開発ビルサービス株式会社 (エム・ベイポイント幕張)	1	1
	イオン株式会社	0	1
	三井不動産商業マネジメント株式会社 (三井アウトレットパーク幕張)	2	1
	株式会社 千葉ロッテマリーンズ	5	2
	幕張新都心まちづくり協議会	0	1
	株式会社 ベイエフエム	1	2
	株式会社 ウェザーニューズ	0	1
	神田外語大学	3	2
	千葉市幕張勤労市民プラザ (Fun Space・オーチャ-共同事業体)	1	1
	イオンモール株式会社 イオンモール幕張新都心	2	1
その他	千葉中央看護学校(一時滞在施設受入役)	30	0
	千葉中央看護学校(帰宅困難者役)	50	0
	千葉市身体障害者連合会	7	0
	国際交流協会(外国人)	5	0
	協議会員以外	7	0
	小計	181	39
	合計	220人(うち帰宅困難者役 100人)	



…帰宅困難者役

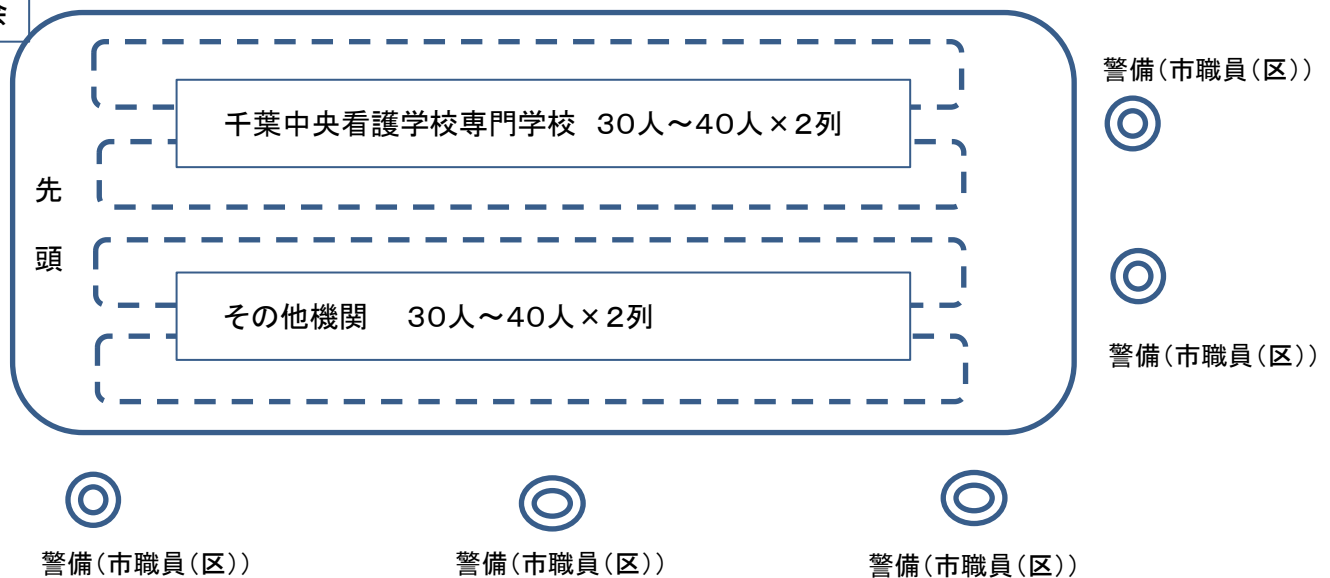
海浜幕張駅帰宅困難者対策実動訓練 集合場所

集合場所:海浜幕張駅北口広場前

集合時間:9時15分

第1自転車駐輪場

司会



海浜幕張駅帰宅困難者対策実動訓練

《地震発生》
平成30年11月7日(水) 午前9時30分

想定
《地震規模》
千葉市直下を震源とする大規模な地震が発生。地震の規模は、マグニチュード7.3と推定され、千葉市内では震度6強の揺れに襲われた。

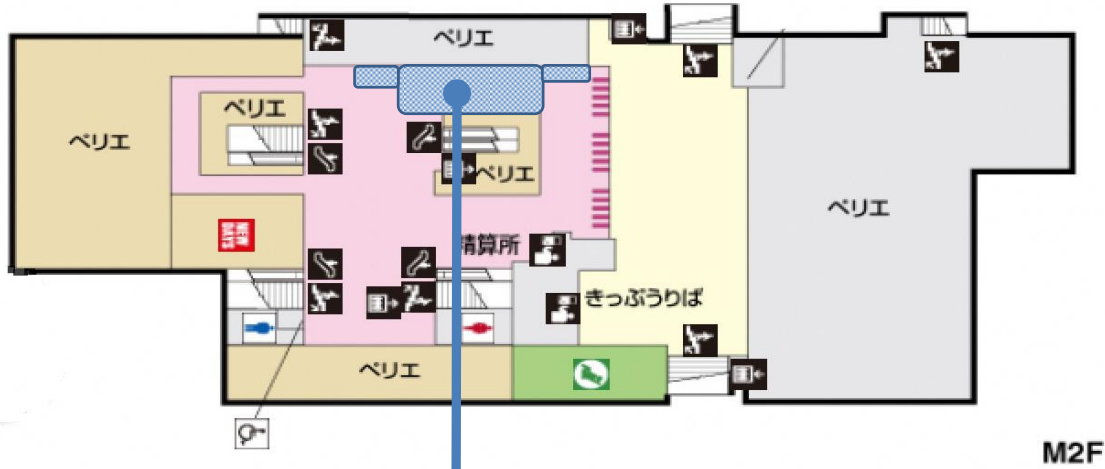
時間	想定	訓練項目	行政機関		交通機関		一時滞在施設		宿泊施設・商業施設等	帰宅困難者
			美浜区役所、市危機管理課、千葉市警察部、千葉西警察署、鉄道警察隊、消防局警防課、美浜消防署、千葉県防災政策課、千葉市観光協会	千葉西警察署、鉄道警察隊、千葉市観光協会	JR海浜幕張駅 京成バス	JR海浜幕張駅	幕張メッセ 千葉中央看護学校(30人)	千葉県総合教育センター 千葉県立保健医療大学		
9:30	海浜幕張駅では、交通機関(JR、バス)の運行停止により、多数の帰宅困難者が発生した。	○ 緊急連絡体制に伴う通信訓練	緊急連絡体制に基づき、状況把握を行う。 【資料3】	JRの訓練場所以て待機する。	緊急連絡体制に基づき、状況把握を行う。 【資料3】	利用者保護訓練及び情報伝達訓練会場において、待機。	緊急連絡体制に基づき、状況把握を行う。 【資料3】	緊急連絡体制に基づき、状況把握を行う。 【資料3】	緊急連絡体制に基づき、状況把握を行う。 【資料3】	JR訓練会場に待機する。
9:50	大地震により、駅利用者を安全な場所に誘導したところ、負傷者がいた。	○ 駅構内での利用者保護訓練 (訓練場所は、1箇所想定)		鉄道警察隊、千葉西警察署は、帰宅困難者を警備する。 【資料4】		駅員は、駅利用者を駅構内の安全な場所に誘導する。 また、肢体不自由者の対応及び負傷者1名の応急処置を行う。 【資料4】	施設の安全確認をチェックリストをもとに行う。 対応状況票を用い、受入可の連絡をする。	美浜区役所より、対応状況票を受取り次第、訓練終了とする。	美浜区役所より、対応状況票を受取り次第、訓練終了とする。	駅員の誘導に従う。 千葉中央看護専門学校は、JR駅員と協力して、負傷者1名の応急処置を行う。
10:10	海浜幕張駅では、交通機関(JR、バス)の運行停止により、多数の帰宅困難者が発生したため、震災状況や運行状況等の情報提供を行う。	○ 一時滞在施設の開設状況などの情報提供訓練	美浜区役所は、対応状況票を完成させて、情報の提供を行う。 千葉市観光協会は、外国人に対しての情報提供を行う。 美浜区役所は、幕張メッセに一時滞在施設の開設を依頼する。 【資料4】		一時滞在施設の開設状況等の情報提供を行う。 また、千葉市観光協会と連携し、外国人に対しての情報提供を行う。		受入の準備を行う。 (訓練終了)	(訓練終了)		情報提供場所にて、一時滞在施設等の開設状況等を確認する。
10:25	帰宅困難者約90名を、幕張メッセへ移動することになった。	○ 一時滞在施設への誘導訓練		千葉西警察署は、経路上の信号がある箇所に警察官を配置(2箇所、3名程度)し、帰宅困難者の安全を図る。 【資料5】	駅員は、帰宅困難者に一時滞在施設までの移動経路を説明し、誘導する。 【資料5】					誘導に従い、一時滞在施設まで移動する。 【資料5】
10:35	一時滞在施設に到着した帰宅困難者の一時受入を行う。	○ 一時滞在施設受け入れ訓練	誘導後は、控室で待機。 【資料6】		誘導後は、控室で待機。 【資料6】	帰宅困難者の受入を行い、物資を支給する。 【資料6】				受付表を記入し、物資を受取る。 【資料6】
11:20 11:50		○ 訓練後の意見交換		意見交換へ参加		意見交換へ参加				意見交換へ参加

海浜幕張駅帰宅困難者対策実動訓練 通信訓練シナリオ

日時	災害状況、 気象予警報 の発令状況 等	災害発生 状況	関係機関の対応状況						帰宅困難者 の状況
			美浜区役所	交通機関	商業施設・宿泊施設等	一時滞在施設	(株)パイエフエム	危機管理課	
9:30	千葉市内全域 に震度6強の 地震が発生。	線路及び電気 系統の一部に 破損が生じて いる。 鉄道各社の運 休	各交通事業者と運行状況の確認。 交通機関より、運行休止の連絡を受け る。 フロー① 交通機関から無線、電話連絡を受け る。	運行状況の情報収集に努める。 本日中の交通機関の運行は 不可能と判断し、その旨を 美浜区役所に連絡する。 フロー① 美浜区役所に運行を休止する報告 を無線、電話連絡する。 (JR 9:32 京成バス 9:33)	施設の状況や客、従業員等に怪我 人がいないかどうか、確認する。 従業員や客等を安全な場所に誘導 する。安全な場所に誘導後は、し ばらく情報を提供するため、避難 者に一時待機を促す。	施設の状況や客、従業員等に怪我 人がいないかどうか、確認する。 従業員や客等に安全な場所に誘導 する。安全な場所に誘導後は、し ばらく情報を提供するため、避難 者に一時待機を促す。		千葉市全体の被害についての把握 と千葉市の体制について検討す る。 危機管理課より、電話により、 通信訓練開始の合図 (JR 9:30 京成バス 9:31)	施設の状況や県民、市民等の被 害・通報に対応・確認する。 家族の安否を確認する。 身の安全を図りながら、 帰宅を急ごうとする。 鉄道の運行が休止したこ とにより、他機関への交 通手段がないか右往左往 する。 今日の帰宅は困難である と判断する。
9:40		千葉市内でイン フラ施設の一 部被害が出 ている。	緊急連絡体制をとり、対応状況票 により状況報告をするよう通知す る。 フロー② 交通機関、商業施設・宿泊施設 等、一時滞在施設、危機管理課に メール及びFAXで連絡する。	美浜区役所からの連絡により、緊 急連絡体制に入る。 対応状況票を作成し、状況報告を 行う。 フロー② 美浜区役所よりメール等を受 取る。メールを受取った旨を メール等で返信する。対応状 況票を作成する。	美浜区役所からの連絡により、緊 急連絡体制に入る。 対応状況票を作成し、状況報告を 行う。 フロー② 美浜区役所よりメール等を受 取る。メールを受取った旨を メール等で返信する。対応状 況票を作成する。	美浜区役所からの連絡により、緊 急連絡体制に入る。 対応状況票を作成し、状況報告を 行う。 フロー② 美浜区役所よりメール等を受 取る。メールを受取った旨を メール等で返信する。対応状 況票を作成する。	美浜区役所からの連絡により、緊 急連絡体制に入る。美浜区役所か らの連絡により、帰宅困難者対応 として緊急連絡体制をとった旨、 連絡する。 フロー② 市警察部、千葉西警察署 千葉県、市消防局：無線 鉄道警察隊、観光協会：電話 にて連絡する。	市より緊急連絡体制に入った旨の 連絡を受ける。 フロー② 千葉市危機管理課から無線及び電 話連絡を受取る。	電車の運行状況等の情報 収集を行う。
9:50	余震が続いて いる。		フロー③ 対応状況票を交通機関、商業施 設・宿泊施設等、一時滞在施設よ りメール及びFAXで受け取る。 メールを受取った旨メール及び FAXで返信する。	フロー③ 美浜区役所に対応状況票を メール等により送付する。 メール受信の連絡を美浜区役 所から受取る。	フロー③ 美浜区役所に対応状況票を メール等により送付する。 メール受信の連絡を美浜区役 所から受取る。	フロー③ 美浜区役所に対応状況票を メール等により送付する。 メール受信の連絡を美浜区役 所から受取る。			
10:00			対応状況票(揭示用(第1報)) を取りまとめ送付する。 フロー③ 交通機関、商業施設・宿泊施設 等、一時滞在施設、危機管理課に メール及びFAXを送信する。	帰宅困難者の誘導準備をする。 情報提供の準備をする。 フロー③ 美浜区役所からのメール受信後、 メールを受取った旨メール等で返 信する。	帰宅困難者の誘導準備をする。 情報提供の準備をする。 フロー③ 美浜区役所からのメール受信後、 メールを受取った旨メール等で返 信する。	受入体制の準備をする。 フロー③ 美浜区役所からのメール受信後、 メールを受取った旨メール等で返 信する。	対応状況票(揭示用(第1報)) により、各施設の情報を得て、交 通機関や一時滞在施設等の情報を 放送する。 フロー③ 美浜区役所からのメール受信後、 メールを受取った旨メール等で返 信する。	美浜区役所より受けた第1報を、 情報提供する。 また海浜幕張駅での帰宅困難者へ の対応を依頼する。 フロー④ 美浜区役所よりメールを受ける。 千葉県、市消防局 観光協会：メール 千葉県警：FAX にて連絡する。 市警察部、千葉西警察署、 千葉県、市消防局：無線 鉄道警察隊、観光協会：電話 にて支援を依頼する。	危機管理課からの情報を受けて、 臨機対応をする。 フロー④ 千葉市危機管理課からメールまた はFAXで連絡を受取る。 千葉市危機管理課から無線及び電 話で連絡を受取る。
10:10		道路渋滞 の発生	帰宅困難者数と受入可能人数から誘 導、受入の指示を出す。 幕張メッセに受入の依頼を電話する。 (10:07)	情報提供を行う。 帰宅困難者の避難誘導。帰宅困難 者を美浜区役所の指示により、分 配し、誘導する。 駅員に誘導を指示する。 情報伝達訓練開始	帰宅困難者の受入準備。 通信訓練終了(区役所より対応状 況を受取り次第、訓練終了とす る。)	帰宅困難者の受入準備。 帰宅困難者の受入準備。 幕張メッセを除く2施設について は通信訓練終了。	交通機関や一時滞在施設等の情報 を発信する。 通信訓練終了	帰宅困難者の避難・誘導。 通信訓練終了(危機管理課より支 援要請を受け次第、訓練終了とす る。)	駅より、情報を受取る。 情報伝達訓練開始

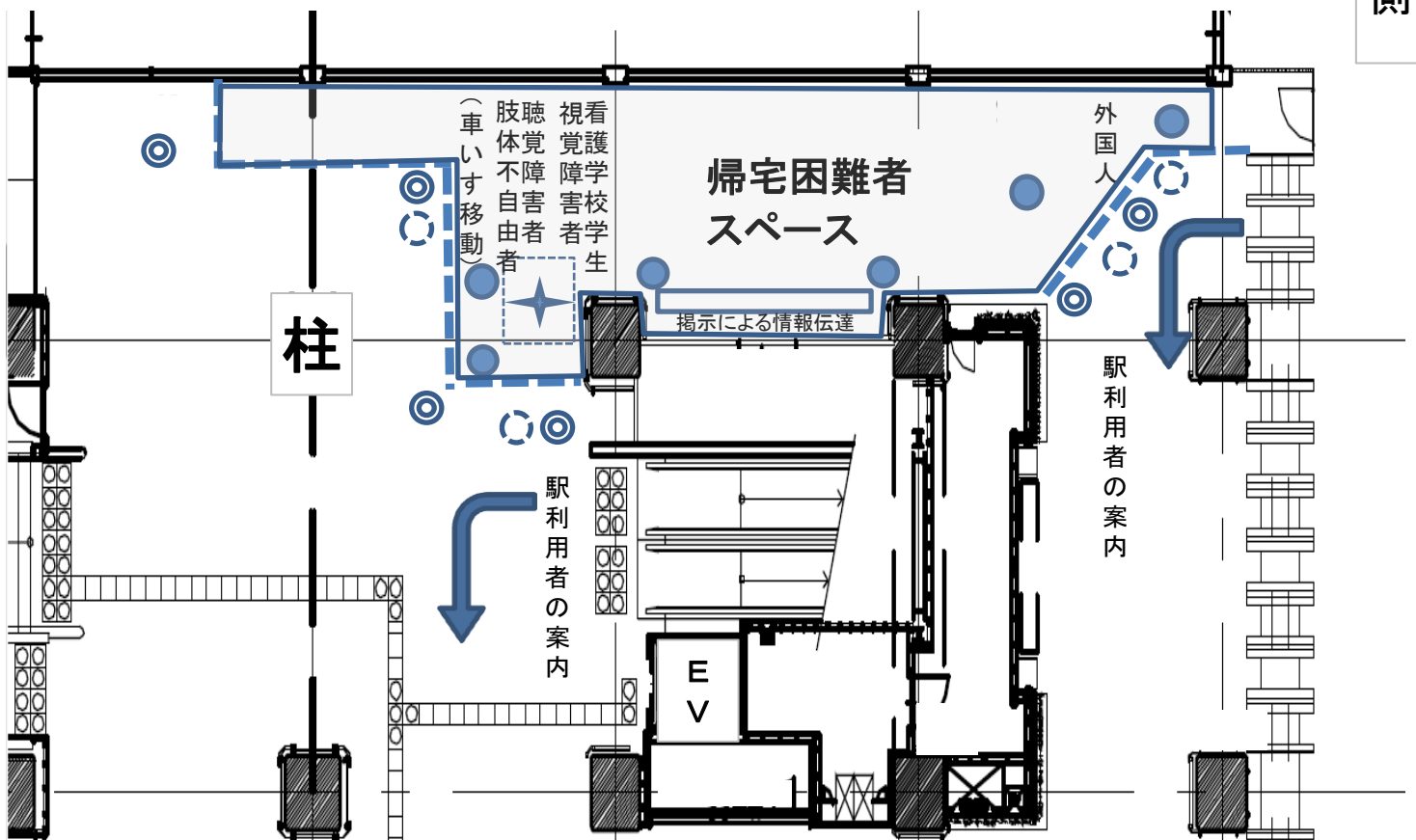
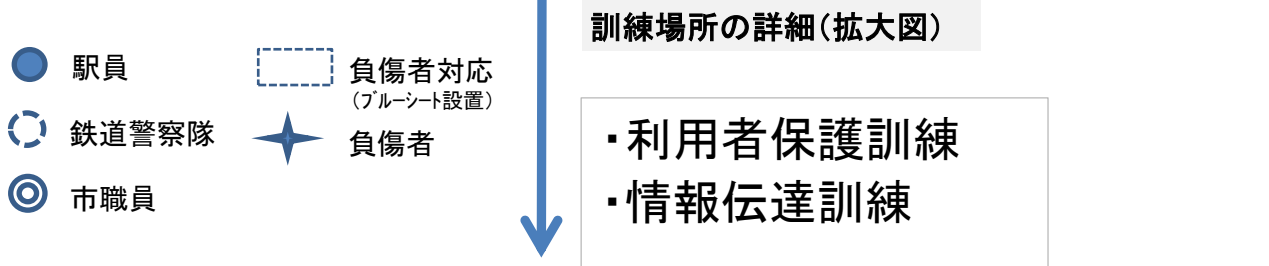
海浜幕張駅帰宅困難者対策実動訓練 利用者保護訓練及び情報伝達訓練

JR海浜幕張駅 改札階 平面図



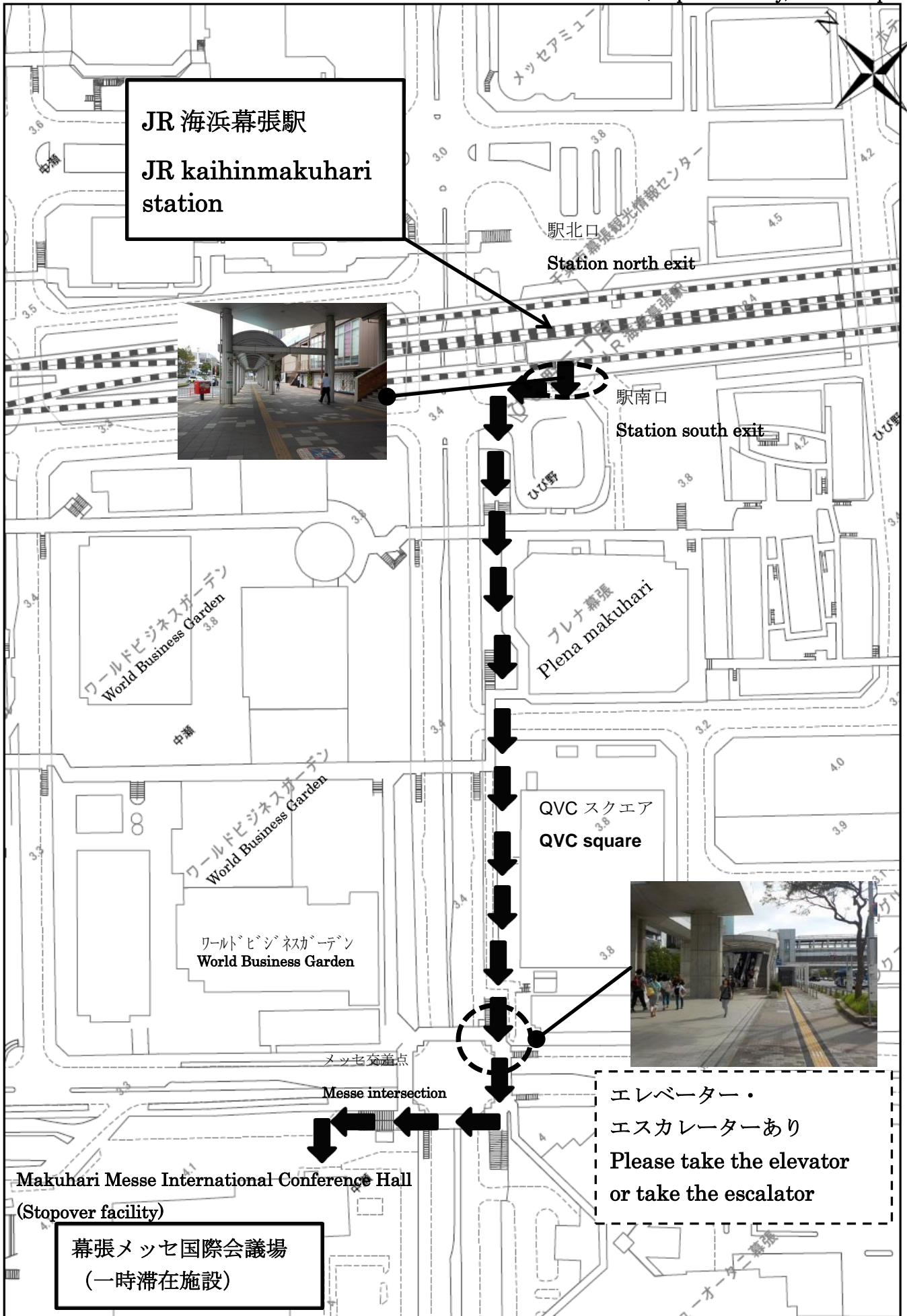
蘇我方面・改札内

東京方面・改札出口側



海浜幕張駅～幕張メッセ国際会議場(一時滞在施設) 案内図

Kaihinhakuhari station ~ Makuhari Messe International Conference Hall (Stopover facility) Guide map



海浜幕張駅帰宅困難者実動訓練 意見交換会について

- 1 千葉県（全体講評）
- 2 東日本旅客鉄道株式会社 海浜幕張駅
- 3 千葉西警察署
- 4 幕張メッセ
- 5 公益社団法人 千葉市観光協会
- 6 千葉市身体障害者連合会
- 7 医療法人社団 誠馨会（せいけいかい） 千葉中央看護専門学校
- 8 海浜幕張駅帰宅困難者等対策協議会 会長

訓練変更または訓練中止の決定について

【 訓練の変更及び中止の判断について 】

訓練当日の午前7時に判断を行う。

(判断基準)

- ・ 千葉市内において災害が発生し、又は発生するおそれがある場合。
- ・ 本市に気象警報等の発表、又は震度4以上の地震が発生した場合。
- ・ 交通機関が混乱し、又は混乱するおそれがある場合。
- ・ 訓練を中止する必要があると事務局が判断した場合。

【 訓練中止の連絡について 】

- ・ 訓練用の緊急連絡先へ、事務局より電話で中止の連絡をする。また、中止決定の通知は、市危機管理課のHPにも掲載する。

**平成29年度千葉駅帰宅困難者対策実動訓練を実施します
～駅における情報伝達や一時滞在施設への避難誘導、外国人への対応訓練などを実施～**

本市では、千葉駅における帰宅困難者発生時の対応能力向上及び関係機関の連携強化のため、11月9日（木）に帰宅困難者対策実動訓練を実施しますので、お知らせします。

1 趣旨・概要

首都直下地震等が発生した場合、千葉駅周辺では多くの帰宅困難者の発生が予想されることから、行政機関、鉄道事業者及び一時滞在施設等の対応能力向上と連携強化を図るため、JR千葉駅、京成千葉駅、モノレール千葉駅の3駅で、帰宅困難者への情報伝達や一時滞在施設への避難誘導等の訓練を実施する。

2 日時

平成29年11月9日（木）9：30～11：50

3 場所

JR千葉駅周辺
千葉市生涯学習センター（一時滞在施設）

4 主催

千葉県、千葉市、千葉駅周辺帰宅困難者等対策協議会

5 参加人数

約200人
（うち、帰宅困難者役 約120人（身体障害者6人、外国人4人））

6 訓練想定

千葉市直下を震源とする大規模な地震が発生。地震の規模は、マグニチュード7.3と推定され、千葉市内では震度6強の揺れに襲われた。

7 訓練の特徴

負傷者及び身体障害者への対応を行うほか、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えて、外国人への対応訓練を実施します。

なお、市内での帰宅困難者対策実動訓練は、平成24年度にJR海浜幕張駅、平成25年度に九都県市合同防災訓練の一環としてJR千葉駅を対象とした訓練以来、3回目となります。

8 訓練の概要

駅構内での利用者保護訓練の後、一時滞在施設への誘導、同施設での受け入れ訓練などを行います。終了後、参加の関係機関による意見交換会において訓練の振り返りを行います。

(1) 通信訓練

区役所と対策協議会各機関との間で情報収集・伝達訓練を実施する。

(被害情報、帰宅困難者発生情報、一時滞在施設の使用可否 等)

(2) 駅構内での利用者保護訓練

各鉄道事業者が、利用者を安全な場所へ誘導し、負傷者の応急処置を行う。

(3) 情報提供訓練

帰宅困難者に対し、一時滞在施設の開設状況等の情報提供を行う。

(4) 誘導訓練

各鉄道事業者が、帰宅困難者を一時滞在施設まで誘導する。

(5) 一時滞在施設受入訓練

施設の開設準備、帰宅困難者の受入及び物資の配布等を行う。

9 訓練の変更・中止

(1) 本市に気象警報の発表又は、震度4以上の地震が発生した場合。

(2) 訓練当日の午前7時に判断を行い、市危機管理課ホームページへの掲載及び参加機関へ連絡します。

10 取材について

(1) 当日会場には報道受付は設けていません。会場内では自社の腕章等を着用し、駅及び施設利用者、並びに訓練に支障がない場所で取材ください。

※事前受付も不要です。なお、報道機関向けの駐車場はありません。

(2) 会場内では係員の指示に従い、円滑な訓練の進行にご協力ください。

<参考>千葉駅周辺帰宅困難者等対策協議会について

1 設立経緯及び目的

平成23年3月の東日本大震災を契機に、県では同年12月に「駅周辺帰宅困難者等対策協議会設置のためのガイドライン」を作成し、大量の帰宅困難者等の発生が予想される駅ごとに行政と関係事業者等で構成する協議会を設置して、帰宅困難者等対策に取り組んでいくこととしています。千葉駅周辺においても東日本大震災で約1,800人(推計)の帰宅困難者が発生したことから、平成24年4月に駅を中心とした周辺の関係機関、行政機関や消防・警察の間で、共通の認識を持ち、対応に当たるための「千葉駅周辺帰宅困難者等対策協議会」が設置されました。なお、現在、県内には、「千葉駅周辺帰宅困難者等対策協議会」を含め、10協議会が設立されています。

2 構成機関

東日本旅客鉄道(株)千葉駅・千葉支社、京成電鉄(株)、千葉都市モノレール(株)、千葉商工会議所、(株)そごう・西武そごう千葉店、(株)千葉センシティ、(株)千葉ショッピングセンター、京成ホテルミラマーレ、三井ガーデンホテル千葉、千葉中央警察署、千葉県警察千葉市警察部、千葉県鉄道警察隊、千葉市(区役所・消防局含む)、千葉県(管財課(本庁舎、中庁舎、南庁舎)、文化会館を含む)、千葉競輪場、千葉サイクル会館、千葉市生涯学習センター、(株)千葉ステーションビル、(一社)千葉県バス協会、財務省関東財務局千葉財務事務所